



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「地域のつくりかたの学校『地方を舞台にした未来の学びをデザインしよう』第2回開催！」

企画のつくりかたの学校
「地方を舞台にした未来の学びをデザインしよう」
 9月20日(水) 19:00-
 『地方を舞台にした研修プログラムのポイントを学ぶ』
 10月4日(水) 19:00-
 『学びのプログラムデザイン実習』
 【参加対象】高知市外在住の方 【実施方法】オンライン
「未来の学び」を学んで実践しよう!!

鏡川流域関係人口講座の第3期では、鏡川流域の地域資源を生かした「遊び」と「学び」の機会である「かがみがわフェスタ」の人材育成講座として、9月20日(水)と10月4日(水)の2日間で、「地域のつくりかたの学校『地方を舞台にした未来の学びをデザインしよう』」をオンラインで開催しました。

第2回目の講座では、ゲスト講師の吉富慎作さん(NPO法人土佐山アカデミー事務局長)と市来広一郎さん(株式会社 machimori 代表取締役)から、地方を舞台にした研修プログラムの事例を伺いました。

存続も危ない課題に 奮闘する学校 地域の未来を 描き出す学校 地域と連携し 学びをデザインしよう

課題先進地熱海
 だからこそ
未来社会の実験都市へ
 2040
I LIVE, ATAMI

ステークホルダーマップ

ファンクラブ会員 134名
 1192名
 73名
 43名

静岡県熱海市の課題をポジティブに捉え、企業研修の場などに活用してきた市来さんのお話は貴重でした！

Yuka Hatanaoka
 Miki Kageyama
 Yuka Hatanaoka
 Miki Kageyama

吉富さんと市来さんのクロストークでは、お2人が、鏡川上流域にあたる土佐山地域と熱海市でそれぞれ行ってきた関係人口作りの視点などを詳しく聞くことができました。
地域に目を向け、そこにあるものを資源として捉える考え方はお2人に共通していました。

Yuka Hatanaoka
 Miki Kageyama
 Yuka Hatanaoka
 Miki Kageyama

また、「何がきっかけで地元の人には自分の街が好きになるのでしょうか?」といった参加者の質問に市来さんが回答しながら、密度の濃い学びの時間を作っていました。

企画のつくりかたの学校

参加者の皆さんは、地方での研修プログラムのアイデアを考え、吉富さんと市来さんからコメントをいただきながら、自分たちの企画を練り上げました。

竹林の伐採やスマホアプリ「Biome」を活用したいきもの観察などを行う環境学習や、納屋のリノベーション体験、土佐の日曜市を出展者側の目線で楽しむプログラムなど、地域資源を活用したアイデアが多数生まれました！

参加者の皆さんが考えた企画は、鏡川流域を盛り上げるアイデアとして「かがみがわフェスタ」にエントリーされる予定です！10月16日(月)にはキックオフイベントも開催予定！ぜひ一緒にフェスタに参加しましょう(^ ^)

「かがみがわフェスタ」キックオフ!
「川と山と」
 10月16日(月) 18:30-20:30
 【参加対象】 全国 | 鏡川流域内
 【実施場所】 Comma(株)高知駅前ビル(高知市中央1-14-10)
 川や山への関わりかた、その仕事の魅力について深掘りをしています!!

鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。
<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール
 iPhone Android